

セアカゴケグモにご注意を

セアカゴケグモは、強い毒を持っていますが、攻撃性はなくおとなしいクモです。見つけた場合は素手で触れないようにし、殺虫剤（ピレスロイド系）の噴霧、踏みつぶすなどで駆除してください。もしかまれた場合は、すぐに患部を洗い流して、医療機関を受診してください。

セアカゴケグモの特徴

黒い体に赤い模様を持つのがメスの特徴で全長7から10ミリ。オスは白っぽくメスよりも小型で4から5ミリ。強い毒性を持っていますが、突かれると驚いて死んだまねをするなど、攻撃性もなく、おとなしいクモです。

かまれた場合、患部が腫れて痛み、毒が全身に回った場合は発汗や吐き気、頭痛などの症状がでます。オーストラリアで1950年代に抗毒血清ができてからの死亡例はありません。

生息場所

1995年に大阪府で発見されて以来、現在では日本各地で発見、定着も確認されています。

主な生息場所としては、屋外ブロック、プランター、庭石や墓石の隙間やくぼみ、排水溝の側面、グレーチングの裏、マンホールの裏、屋外に置いたままにしているサンダルなど。巣を作る為に、日当たりが良い暖かいところ、昆虫などの餌が豊富な所、適当な隙間があるところが必要です。

発見した場合

敷地の所有者、管理者の方で十分に気を付けて駆除を行ってください。

